

中日 サンデー版 + テレビ

- 2 ● ケンタロウの快食レシピ
「うなぎ押しずし」
● 優しい肴 「クレソン」
● 300文字小説
● スグレもの
野菜保存ネット

- 3 7 ● 週間テレビガイド
(13~19日)

- 4 5 ● 大図解
増え続ける宇宙ごみ

- 7 ● サンデー懸賞
● クイズ&パズル

吹き竿を巧みに操ってガラスの形を整える李末竜さん(右)。温度の変化に気を
使い、瞬時の判断で模様を付けていく。愛知県瀬戸市のバルト工房で



天然珪砂産出量

経済産業局別(万トン)

東北	28
中部	298
中国	64
国内	431
輸入	156



※2007年日本珪砂耐火粘土鉱業協会資料。
瀬戸市の数字は愛知県珪砂鉱業協同組合資料

中部地方に多くの鉱山集中

★メモ 珪砂は、花こう岩が風化して粒状になったもの。ソーダ灰

珪砂産出量

大阪市や名古屋市のガラス工場
で修業し、民族運動に打ち込んだ
後の一九七六年、瀬戸に窯を築
き、工房をつくって制作を始め
た。沖縄を別にすれば、個人工房
は少ない時代。築窯からすべてが
手探りだった。

八八年から二年間、英国の美術
大などに留学。帰国後は制作とど
もにガラス工芸のすそ野を広げる
「きれい。もっと面白いものにな
る」。素材にほれた。

李末竜さんは、在日韓国人
二世。愛知県瀬戸市の瀬戸窯業高
校で陶芸家を志したが、卒業を控
えて訪れた大阪市のガラス工場
で、人生が変わった。熱を帯び、
自由自在に形を変える美しいガラ
ス。リズム感にあふれる工程。
「きれい。もっと面白いものにな
る」。素材にほれた。

わが町 日本一



ガラスにほれた`伝道師`